



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーセー

コード番号 4922 URL <http://www.kose.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 一俊

問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 中田 仁典 TEL 03-3273-1511

四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	80,472	13.8	17,592	37.3	18,697	44.4	13,393	55.2
30年3月期第1四半期	70,689	13.2	12,813	26.0	12,949	39.7	8,627	64.1

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 9,936百万円 (7.9%) 30年3月期第1四半期 9,206百万円 (125.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	234.79	—
30年3月期第1四半期	151.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	272,192	203,430	69.2	3,303.72
30年3月期	270,370	198,607	68.1	3,227.07

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 188,456百万円 30年3月期 184,083百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	63.00	—	85.00	148.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	85.00	—	85.00	170.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	162,000	12.0	31,000	32.1	32,200	34.5	22,600	48.6	396.19
通期	325,000	7.1	56,000	15.7	57,400	18.3	38,300	25.1	671.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）一、除外 1社（社名）高絲化粧品有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	60,592,541株	30年3月期	60,592,541株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	3,548,904株	30年3月期	3,548,828株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	57,043,675株	30年3月期1Q	57,044,096株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第1四半期連結累計期間(平成30年4月1日から平成30年6月30日まで)

セグメントの名称	前第1四半期		当第1四半期		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
化粧品事業	53,870	76.2	61,725	76.7	7,854	14.6
コスメタリー事業	16,309	23.1	18,117	22.5	1,807	11.1
その他	509	0.7	630	0.8	120	23.8
売上高計	70,689	100.0	80,472	100.0	9,783	13.8

区分	前第1四半期		当第1四半期		前年同期比較	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益	12,813	18.1	17,592	21.9	4,779	37.3
経常利益	12,949	18.3	18,697	23.2	5,748	44.4
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,627	12.2	13,393	16.6	4,766	55.2

当第1四半期連結累計期間(平成30年4月1日から平成30年6月30日まで)における日本経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな景気回復の動きがみられました。化粧品業界におきましては、平成30年度の経済産業省化粧品出荷統計(暦年)によりますと、販売個数・販売金額ともに前年を上回りました。また、海外において当社グループが主に事業展開しているアジア・米国経済につきましては、総じてみれば緩やかながらも景気回復の基調が続きました。

このような市場環境の中、当社グループは、今期より新たな中期経営計画「グローバルブランド拡充と顧客接点の強化」をスタートさせ、企業の成長を支える強い経営基盤をベースとしながら、そのリソースを最大限に活用し、独自の価値創造を絶えず行っていくことにより、グローバルかつボーダレスな成長を目指してきました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、全セグメント及び全ての地域において前年を上回り、売上高は前年同期比13.8%増の80,472百万円(為替の影響を除くと前年同期比14.4%増)となり、第1四半期としては過去最高を5期連続で更新しました。なお、連結売上高に占める海外売上高の割合は25.8%となりました。

利益につきましては、収益性の高い製品の売上構成比が上昇したことによる原価率の改善に加え、販売費及び一般管理費の効率的な運用により、営業利益は17,592百万円(前年同期比37.3%増)、経常利益は18,697百万円(同44.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は13,393百万円(同55.2%増)となり、いずれも過去最高となりました。

化粧品事業につきましては、ハイプレステージ領域において、国内外で飛躍的に伸長した「コスメデコルテ」が牽引したことに加え、高級化粧品を扱う(株)アルビオン、米国タルト社の売上も拡大しました。また、プレステージ領域においては、国内では、美白有効成分「コウジ酸」配合の薬用美白美容液「メラノショット ホワイト」を発売した「ONE BY KOSÉ」などが売上に寄与しました。海外では、重点グローバルブランドを中心に韓国や中国などアジア地域での販売が好調に推移しました。これらの結果、当事業の売上高は61,725百万円(前年同期比14.6%増)、営業利益は17,129百万円(同38.3%増)となりました。

コスメタリー事業につきましては、洗顔・クレンジングの「ソフティモ」、シートマスクの「クリアターン」、ボタニカルヘアケアシリーズ「サロンスタイル ビオリス」など、重点カテゴリーブランドが好調なコーセーコスメポート(株)が牽引したほか、口紅やアイメイクが好調な「ヴィセ」等のセルフメイクブランドの売上が拡大しました。これらの結果、当事業の売上高は18,117百万円(同11.1%増)、営業利益は1,411百万円(同2.4%増)となりました。

その他の事業につきましては、アメニティ製品等の販売が増加した結果、売上高は630百万円(同23.8%増)、営業利益は354百万円(同54.6%増)となりました。

地域別売上高(外部顧客に対する売上高)の状況

	前第1四半期		当第1四半期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
日本	54,146	76.6	59,711	74.2	5,564	10.3
アジア	6,912	9.8	10,761	13.4	3,848	55.7
北米	8,971	12.7	9,077	11.3	105	1.2
その他	658	0.9	922	1.1	263	40.0
売上高計	70,689	100.0	80,472	100.0	9,783	13.8

<日本>

日本市場につきましては、主要な販売チャネルでプラス成長となりました。特に「コスメデコルテ」などのハイプレステージ領域のブランドを中心に展開する百貨店チャネルでは、インバウンド需要のみならず、国内のお客さまへの販売も好調に推移したため、売上が大幅に増加しました。また、ドラッグストアチャネルやGMSチャネルでは、効能特化型ブランド「ONE BY KOSÉ」に加え、コーセーコスメポート(株)が展開する主要ブランドやメイクブランド「ヴィセ」など、プレステージ領域及びコスメタリー事業のブランドの売上も拡大しました。これらの結果、売上高は59,711百万円(前年同期比10.3%増)となりました。

<アジア>

アジア市場につきましては、高付加価値ブランド「コスメデコルテ」が牽引役となり、事業展開している全ての国と地域でプラス成長となりました。特に、免税チャネルの高成長が続いた韓国、Eコマースの成長著しい中国が好調に推移した結果、売上高は10,761百万円(同55.7%増)となりました。

<北米>

北米市場につきましては、米国タルト社による専門店チャネル及び自社ECサイトでの販売が安定的に成長した結果、売上高は9,077百万円(同1.2%増)となりました。

<その他>

その他の地域につきましては、米国タルト社による欧州や豪州でのEコマース等による販売が好調だった結果、売上高は922百万円(同40.0%増)となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、最近の業績の動向を踏まえ、平成30年4月27日に公表した連結業績予想を下記の通り修正いたします。

(第2四半期累計期間)

第2四半期累計期間の業績につきましては、ハイプレスステージ領域のブランドを中心として国内販売が好調に推移していることに加え、韓国や中国などアジア地域でも好調な業績が続くなど、前回発表予想を上回り、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は過去最高となる見込みです。

(通期)

通期の業績予想につきましても同様の理由から、売上高、営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する当期純利益を上方修正いたします。

平成31年3月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 154,500	百万円 25,000	百万円 25,300	百万円 14,600	円 銭 255.94
今回修正予想(B)	162,000	31,000	32,200	22,600	396.19
増減額(B-A)	7,500	6,000	6,900	8,000	—
増減率(%)	4.9	24.0	27.3	54.8	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	144,615	23,467	23,940	15,212	266.68

平成31年3月期(通期)連結業績予想の修正(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 323,000	百万円 52,000	百万円 52,400	百万円 32,300	円 銭 566.23
今回修正予想(B)	325,000	56,000	57,400	38,300	671.42
増減額(B-A)	2,000	4,000	5,000	6,000	—
増減率(%)	0.6	7.7	9.5	18.6	—
(ご参考)前期実績 (平成30年3月期)	303,399	48,408	48,508	30,611	536.63

平成31年3月期(通期)連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

セグメントの名称	平成30年3月期		平成31年3月期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
化粧品	229,603	75.7	248,900	76.6	19,296	8.4
コスメタリー	71,323	23.5	73,800	22.7	2,476	3.5
その他	2,473	0.8	2,300	0.7	△173	△7.0
売上高計	303,399	100.0	325,000	100.0	21,600	7.1

区分	平成30年3月期		平成31年3月期		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)		
営業利益	48,408	16.0	56,000	17.2	7,591	15.7
経常利益	48,508	16.0	57,400	17.7	8,891	18.3
親会社株主に帰属する当期純利益	30,611	10.1	38,300	11.8	7,688	25.1

※主要な為替レートにつきましては、106円/米ドル、3.6円/台湾ドル、16.6円/中国元を想定しています。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	83,637	84,775
受取手形及び売掛金	41,403	40,334
有価証券	8,274	5,325
商品及び製品	29,260	30,150
仕掛品	2,407	2,758
原材料及び貯蔵品	19,271	22,885
その他	2,913	2,986
貸倒引当金	△48	△54
流動資産合計	187,119	189,162
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,813	39,588
減価償却累計額	△20,961	△20,904
建物及び構築物(純額)	16,852	18,684
機械装置及び運搬具	16,078	15,906
減価償却累計額	△12,251	△11,875
機械装置及び運搬具(純額)	3,827	4,030
工具、器具及び備品	36,164	36,621
減価償却累計額	△30,357	△30,260
工具、器具及び備品(純額)	5,806	6,360
土地	16,555	16,541
リース資産	1,932	2,016
減価償却累計額	△1,314	△1,377
リース資産(純額)	618	638
建設仮勘定	4,351	2,342
有形固定資産合計	48,011	48,598
無形固定資産		
ソフトウェア	1,563	1,483
のれん	7,629	6,977
その他	7,190	7,078
無形固定資産合計	16,383	15,539
投資その他の資産		
投資有価証券	10,381	12,018
繰延税金資産	5,872	4,061
その他	2,850	3,060
貸倒引当金	△247	△248
投資その他の資産合計	18,856	18,891
固定資産合計	83,250	83,029
資産合計	270,370	272,192

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,534	11,346
電子記録債務	15,849	20,821
短期借入金	600	600
リース債務	227	253
未払金	13,725	9,836
未払費用	9,423	5,575
未払法人税等	7,865	2,750
未払消費税等	1,872	1,843
返品調整引当金	1,928	1,927
その他	1,767	5,175
流動負債合計	62,793	60,131
固定負債		
リース債務	484	483
役員退職慰労引当金	2,513	2,454
退職給付に係る負債	4,952	4,573
繰延税金負債	25	—
その他	993	1,118
固定負債合計	8,969	8,629
負債合計	71,763	68,761
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,848	4,848
利益剰余金	180,514	189,058
自己株式	△9,098	△9,100
株主資本合計	176,263	184,806
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,651	4,102
為替換算調整勘定	4,098	△538
退職給付に係る調整累計額	70	85
その他の包括利益累計額合計	7,820	3,649
非支配株主持分	14,523	14,974
純資産合計	198,607	203,430
負債純資産合計	270,370	272,192

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	70,689	80,472
売上原価	18,179	19,371
売上総利益	52,510	61,101
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	3,992	4,298
販売促進費	12,164	13,260
運賃及び荷造費	2,662	3,255
給料及び手当	11,007	12,006
退職給付費用	481	315
法定福利費	1,655	1,769
減価償却費	724	915
その他	7,007	7,686
販売費及び一般管理費合計	39,696	43,508
営業利益	12,813	17,592
営業外収益		
受取利息	30	69
受取配当金	37	100
特許実施許諾料	17	19
有価証券償還益	27	—
為替差益	—	861
雑収入	62	76
営業外収益合計	175	1,127
営業外費用		
支払利息	3	0
支払手数料	1	5
為替差損	30	—
雑損失	4	16
営業外費用合計	39	22
経常利益	12,949	18,697
特別利益		
固定資産売却益	3	1
投資有価証券売却益	0	—
関係会社株式売却益	—	925
特別利益合計	4	926
特別損失		
固定資産処分損	31	40
投資有価証券評価損	—	6
特別損失合計	31	47
税金等調整前四半期純利益	12,921	19,576
法人税、住民税及び事業税	2,390	3,804
法人税等調整額	915	1,629
法人税等合計	3,305	5,433
四半期純利益	9,616	14,143
非支配株主に帰属する四半期純利益	989	749
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,627	13,393

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	9,616	14,143
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	578	450
為替換算調整勘定	△1,096	△4,676
退職給付に係る調整額	108	19
その他の包括利益合計	△409	△4,206
四半期包括利益	9,206	9,936
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,261	9,222
非支配株主に係る四半期包括利益	945	714

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、当社の特定子会社であった高絲化粧品有限公司の持分をすべて譲渡したことにより、高絲化粧品有限公司は当社の特定子会社に該当しないこととなり、当第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

なお、持分譲渡終了時までの損益計算書については連結しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	53,870	16,309	70,180	509	70,689	—	70,689
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	73	73	162	235	△235	—
計	53,870	16,383	70,253	671	70,925	△235	70,689
セグメント利益	12,388	1,378	13,767	229	13,996	△1,182	12,813

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	34
各報告セグメントに配分していない全社費用	△1,217

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	北米	その他	計
54,146	6,912	8,971	658	70,689

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリー 事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	61,725	18,117	79,842	630	80,472	—	80,472
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	267	267	219	487	△487	—
計	61,725	18,385	80,110	849	80,960	△487	80,472
セグメント利益	17,129	1,411	18,540	354	18,895	△1,302	17,592

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業・不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	38
各報告セグメントに配分していない全社費用	△1,340

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	北米	その他	計
59,711	10,761	9,077	922	80,472